

小学校第五学年 国語 「相手の意見を聞き、自分の考えを発表しよう」

○ 正答例

一 意見アに反対します。「ちらかっているゴミの量はもっとふえてしまおう。」と言いましたが、ゴミはそもそも自分でゴミの日に捨てるものです。自分でやるべきことをコンビニに押しつけるのは、恥ずかしいことだと思いますが、どうですか。(百八字)

【例2】 意見アに反対です。「コンビニにとって大きな問題ではない。」と言いましたが、それはあくまで捨てる側の考え方です。毎日家庭のゴミを捨て続けられたら、一か月後には大変な量になります。ゴミ処理にはお金もかかります。コンビニの立場も考えるべきです。(百十八字)

○ この問題で身につけてほしい力

○話を聞き、考えをくらべながら、自分の考えをまとめる力

○ 考え方

一 反論は、話し合いを活発にしたり、しぼりこんだりするために、大切な意見の表し方です。  
ですから、根拠をはっきりとさせ、自分の考えを分かりやすく話さなければなりません。  
そこで、次のような組み立てで反論します。

- 自分の立場を話す。
- 相手の発言や資料を使い、意見の根拠を話す。
- 自分の考えを話す。

また、自分の意見を相手に受けてもらおうと、話し合いはさらに活発になります。次のこともつけ加えると、さらによいでしょう。

○相手に意見を投げかける。

○自分の立場を話す

意見アに反対します。「ちらかっているゴミの量はもっとふえてしまおう。」と言いましたが、

○相手の発言や資料を使い、意見の根拠を話す

○自分の考えを話す

ゴミはそもそも自分でゴミの日に捨てるものです。自分でやるべきことをコンビニに押しつけるのは、恥ずかしいことだと思いますが、  
○相手に意見を投げかける  
どうですか。

○自分の立場を話す

意見アに反対です。「コンビニにとって大きな問題ではない。」と

○相手の発言や資料を使い、意見の根拠を話す

○自分の考えを話す

言いましたが、それはあくまで捨てる側の考え方です。毎日家庭のゴミを捨て続けられたら、一か月後には大変な量になります。  
ゴミ処理にはお金もかかります。コンビニの立場も考えるべきです。

この問題では、【条件】に「【意見ア】から引用して」と示されています。

意見や根拠となるものが、資料になっているときには、そのまま引用して話すことができます。

話し合いの中で、相手の発言を根拠にするときには、メモなどをおき、それをもとにおよその内容を話せばいいでしょう。